

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日 時： 令和 7 年 9 月 18 日 10 時 00 分～10 時 45 分

場 所： 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委 員： 4 人

利用者代表	0 人	知見を有する者	2 人
利用者家族	1 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	0 人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・リーダー)			3 人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	6 月	7 月
登録数 (月末時点)	28 名	28 名
男性：女性	2:5	9:19

b) 地域

	6 月	7 月
仁摩町	18 名	18 名
温泉津	6 名	6 名
大森町	1 名	1 名
五十猛町	1 名	1 名
水上町	1 名	1 名
大田町	1 名	1 名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
6 月	0	2	14	8	3	1	0	0
7 月	0	2	14	8	2	1	1	0

d) 年齢構成

	65 歳未満	65 歳以上	75 歳以上	85 歳以上	95 歳以上	平均年齢
		75 歳未満	85 歳未満	95 歳未満		
6 月	0	0	7	14	7	89.25 歳
7 月	0	0	7	15	6	88.57 歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 月当たりの平均サービス提供回数

	6 月	7 月
通いのべ人数/月 (平均)	402 人 (13.4 人/日)	405 人 (13 人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	194 人 (5.4 人/日)	171 人 (5.7 人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	512 回 (17 回/日)	518 回 (16.7 回/日)
のべサービス 提供回数/月	1089 回	1062 回
のべ利用日数/月	785 日	800 日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 9.71 回/週	一人当たり 9.29 回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方6月3名、7月2名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が6月2名・7月3名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 新型コロナウイルス感染症対策 8月⇒職員4名 利用者4名 罹患

項目	内容
通い	○ 通常対応中 検温、風邪症状の有無などの健康チェックは引き続き行っている。 ホールテーブルにアクリルパネル設置。 県外行き来されるご家族には自己チェックお願いしている。
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○ 体調確認して頂き、面会室を利用している
人員体制	○ 現在職員16名。欠員なし
職員の対応	○ 手洗いなどの標準予防策
業者の入館	○ 玄関対応可能な業者は玄関対応 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館
備品の状況	○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

適宜窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整。

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（2回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③設備・機器の整備

特になし。

④過ごしやすい空間作りの取組

6月1日	リビング壁面
7月1日	リビング壁面

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

- ・6月23日 地域食堂まんまんちゃん参加 利用者1名 職員1名
- ・7月13日 地域食堂まんまんちゃん参加 利用者1名 職員1名

②実習受入れ

- 7月2日・3日 邇摩高等学校実習生 各2名ずつ
- 7月14日・15日・16日 邇摩高等学校実習生 各2名ずつ

③民生委員・関係機関等との連携

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

- ・地域食堂参加
- ・

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

- ・あじさい見学

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	7名
処方薬の受領、支払い代行	4名
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	3回

④町内買い物代行

5名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて4名からお預りし、支払いを代行しました。

購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

8月末に災害の机上訓練を行いました。

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

6月30日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
7月29日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行っていました。

- ・認知症実践者研修 1名
- ・主任介護支援専門員更新研修 1名

介護事故の発生状況

- ① 転倒事故 1件
- ② 火傷事故 1件

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性なし。

③ 虐待防止活動

なし

④ 苦情相談

苦情相談なし

意見・アドバイス

○施設長

→長期宿泊から自宅に帰る方はどのような理由が？

本人の希望であり、少しずつ自宅の環境を整えています。

○委員

→食事についてのリスク予防策は？

ほほえみでは食事の盛付を職員で行っています。食事のときは2時間

を徹底しています。加熱は10~20分行い、食中毒予防に努めています。

手洗いなどの標準予防策を行い、体調不良の職員は調理に携わらないように

しています。

○大田市職員

→預り金の管理はどのようにしているか？

金銭預かり表を利用し、支出入を確認しています。